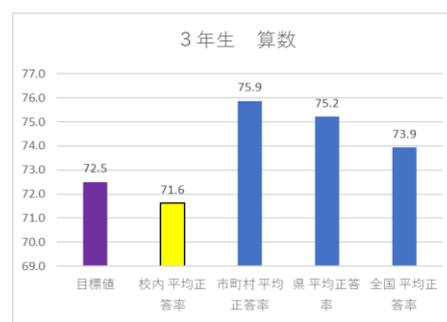
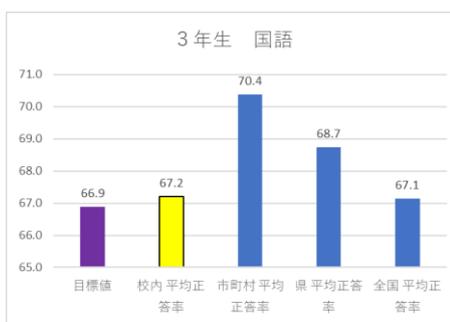


令和4年度岡山県学力調査（3年生～5年生）の結果のお知らせ

今年度4月末に行われた「岡山県学力調査」の結果が公表されました。今回の学力調査結果をもとに、本校では児童の課題を把握し、これからの学習指導及び生活指導に生かすなど、有効に活用していきたいと考えています。3年生～5年生の結果概要及び全体の傾向は次の通りです。

3年生

	国語	算数
校内平均正答率	67.2	71.6
市町村平均正答率	70.4	75.9
県平均正答率	68.7	75.2
全国平均正答率	67.1	73.9



今回の結果では、国語科は全国平均程度ですが、県平均、市平均からは約2～3ポイント下回りました。算数科は全国・県・市の平均値からは2～4ポイント下回ってしまいました。国語では漢字の書き取りや場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像する問題に課題が見られる一方、指定された条件で文章を書くことについては国・県・市の平均を上回っており、これまでの取組の成果がみられました。算数科では九九の定着、時間の計算、かさの適切な単位などの問題で課題が見られました。今後は日々の授業を大切にしながら、児童が自信をもって学習に取り組んでいけるよう支援していきたいと思っています。まだ十分に定着ができていない状況が見られた結果につきましては、今後の課題と捉え、改善を図っていききたいと考えています。

○国語科における課題

- ・漢字を正しく書くこと。
- ・文の内容を読み取ること。
- ・文を読み、登場人物の行動などを具体的に想像すること。

○算数科における課題

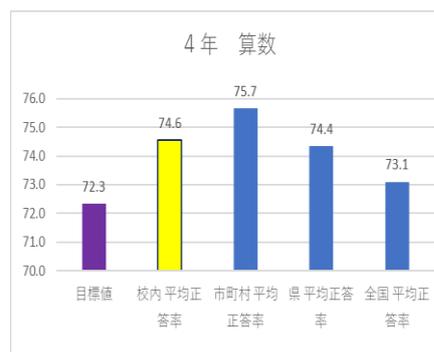
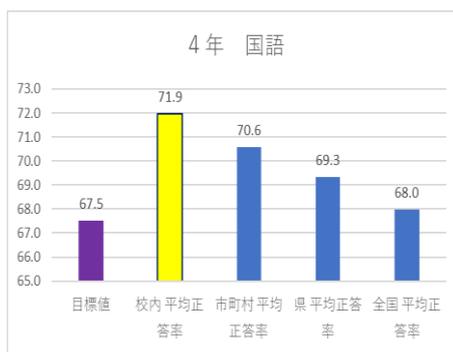
- ・九九表のきまりに気づき、それを生かして九九を構成する。
- ・1時間＝60分の関係の理解
- ・与えられた条件から、乗法九九の立式をして答えをだす。
- ・身近にあるもののかさを推察して、適切な単位を使う。

学校としましては、次の二つのことに取り組んでいきます。

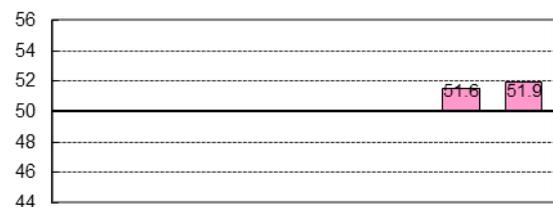
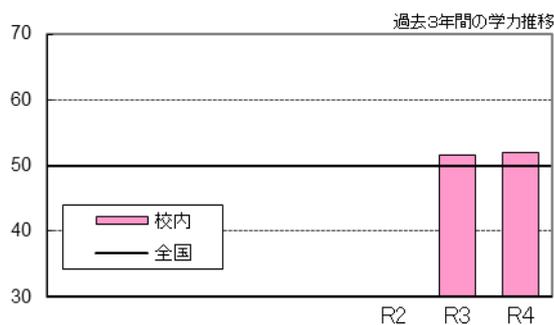
- ① 宿題やチャレンジタイムで基本的な内容の反復練習や基本的内容を活用した応用問題を繰り返し行い、学習の基礎となる力（特に九九の確実な定着）を伸ばしていきます。
- ② 平素の授業においては、引き続き学習のめあてや振り返りを授業の始めと終わりに位置付け、児童が学びの成果を実感できるようにします。また、根拠を明確にしながら説明したり、振り返りなど自分の言葉で記述していく機会をさらに充実させたりして、学習の成果が高まっていくように努めます。

4年生

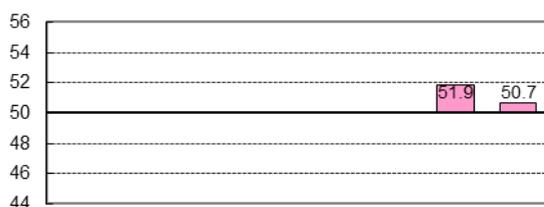
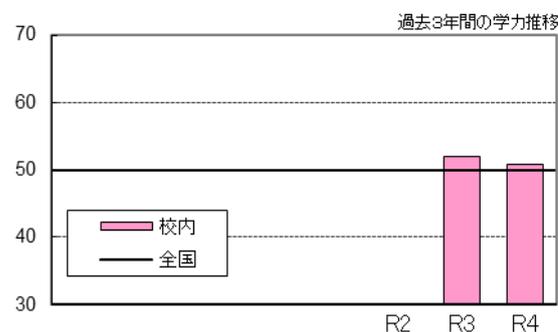
	国語	算数
校内平均正答率	71.9	74.6
市町村平均正答率	70.6	75.7
県平均正答率	69.3	74.4
全国平均正答率	68.0	73.1



同一集団の学力推移・標準スコア（国語）



同一集団の学力推移・標準スコア（算数）



今回の結果では、国語科は全国や岡山県、倉敷市の平均正答率を上回っていました。算数科は倉敷市の平均正答率には及ばないものの、岡山県、全国の平均より上回っていました。また、3年生の時から経年変化を見ても、標準スコアは全国平均を継続して上回りました。

国語では、漢字のへんやつくり、国語辞典の使い方の理解に課題が見られたものの、段落の役割について理解し、段落を意識して文章を書いたり、自分の考えとそれを支える理由や事例を明確にして文章を書いたりすることはよくできていました。算数では、分数や小数の基本的な計算ができているものの、□を使った式や図形の問題では正答率の差が県や市と開く傾向が見られました。

今後も日々の授業を大切にしながら、児童が自信をもって学習に取り組んでいけるよう支援していきたいと思います。まだ十分に定着ができていない状況が見られた結果につきましては、今後の課題と捉え、学習指導に生かしていきたいと考えています。

国語科における課題

- ・ 漢字のへんやつくり、国語辞典の使い方の理解

算数科における課題

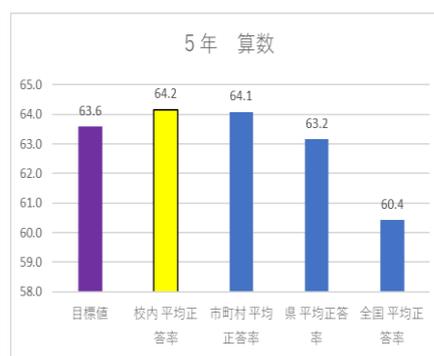
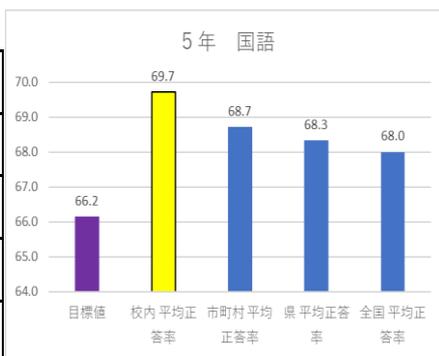
- ・ 小数の相対的な大きさの理解
- ・ □を使って、乗法の式に表す。
- ・ 円の中心と円周上の2点を結んでできる三角形が二等辺三角形になる理由など図形についての理解

学校としましては、次の二つのことに取り組んでいきます。

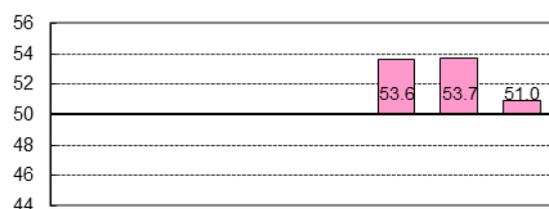
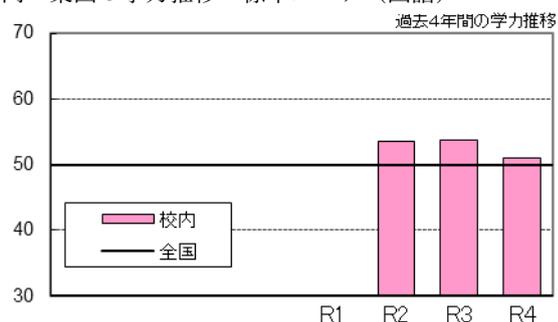
- ① 宿題やチャレンジタイムで基本的な内容の反復練習や基本的内容を活用した応用問題を繰り返し行い、学習の基礎となる力を伸ばしていきます。（特に算数の図形問題）
- ② 平素の授業においては、引き続き学習のめあてや振り返りを授業の始めと終わりに位置付け、児童が学びの成果を実感できるようにします。また、根拠を明確にしなが説明したり、振り返りなど自分の言葉で記述していく機会をさらに充実させたりして、学習の成果が高まっていくように努めます。

5年生

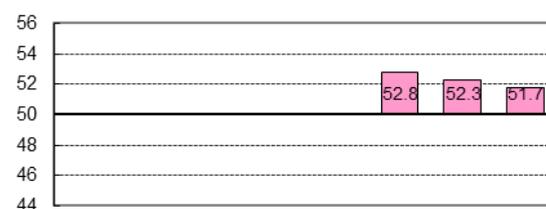
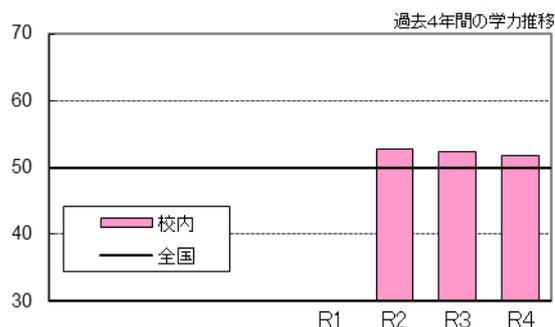
	国語	算数
校内平均正答率	69.7	64.2
市町村平均正答率	68.7	64.1
県平均正答率	68.3	63.2
全国平均正答率	68.0	60.4



同一集団の学力推移・標準スコア（国語）



同一集団の学力推移・標準スコア（算数）



今回の結果では、国語科では、全国、県、市の平均正答率を上回っています。漢字の書き取りやことわざの問題で全国の平均正答率を下回った問題があったものの概ねどの領域でも平均値を上回る成績で、段落の役割について理解して文章を書いたり、内容の中心を明確にし、事実と自分の考えを書いたりすることは学習の成果を発揮してよくできていました。算数でも、全国、県、市の平均正答率を上回っていますが、小数の掛け算、割り算、図形の角についての問題、折れ線グラフから変わり方を読み取ることで課題が見られました。同一集団の標準スコアの経年変化を見てみると、国語も算数も全国の値を上回っていますが差が小さくなってきています。

○国語科における課題

- ・漢字を正しく書く
- ・気持ちを表す語句の量、語彙の豊かさ
- ・意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめる。

○算数科における課題

- ・帯分数－真分数＝真分数（繰り下がりあり）の同分母分数の計算
- ・小数の掛け算、割り算
- ・分度器の中に示された角の大きさの目盛りの読み取り
- ・折れ線グラフから変わり方を読み取ること

そこで学校としましては、次の二つのことに取り組んでいきます。

- ① 宿題やチャレンジタイムで基本的な内容の反復練習や基本的内容を活用した応用問題を繰り返し行い、学習の基礎となる力を伸ばしていきます。
- ② 平素の授業においては、引き続き学習のめあてや振り返りを授業の始めと終わりに位置付け、児童が学びの成果を実感できるようにします。また、根拠を明確にしながら説明したり、振り返りなど自分の言葉で記述していく機会をさらに充実させたりして、学習の成果が高まっていくように努めます。

5年生では「学習状況調査」もありました。いくつか参考となる結果は次のとおりです。

学校に行くのは楽しい。 (肯定的回答)			
校内	88.6	5.1	
県	83.5		

国語の授業の内容はよく分かる。 (肯定的回答)				算数の授業の内容はよく分かる。 (肯定的回答)			
校内	86.6	1.7		校内	81.4	-3.1	
県	84.9			県	84.5		

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていましたか。(1時間以上)						
校内	76.2	10.3				
県	65.9					

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていましたか。(1時間以上)

校内	60.9	8.1					
県	52.8						

テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていた。(肯定的回答)

校内	60.8	-10.6					
県	71.4						

普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしていましたか。(2時間未満)

校内	55.7	1.0					
県	54.7						

	4時間以上	3時間以上、4時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	1時間より少ない	全くしない	無回答
校内	19.6	5.2	18.6	30.9	15.5	9.3	1
県	15.3	10.9	18.7	27.2	19.2	8.3	0.3

- 学校に通うことは楽しいと思っている児童が県平均より5割上回りほぼ9割に達しています。
- 国語の授業は「よくわかる」と回答した児童が県平均より若干ですが上回り、算数の授業はすこし下回っています。正答率はよかったですですが少し苦手意識が出てきているようです。
- 平日、土日ともに、家庭で1時間以上勉強する層が8~10割県平均より上回ったのは頼もしく感じます。自主学習の習慣もしっかりとついているようです。
- テレビやゲームの時間について家庭内の約束ができていない人が少し多いようです。家庭でのルールづくりを進める必要があるようです。
- ゲームをする時間は2時間未満の児童は県平均より1割多くよかったですですが、細かく見てみると4時間以上している児童が県平均より4割高く約20%で、5人に一人は4時間以上ゲームをしているということになり心配です。